

とちぎっ子学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果を活用し、自校の検証改善サイクルを確実に回すために



学力向上に向けた学校全体での取組

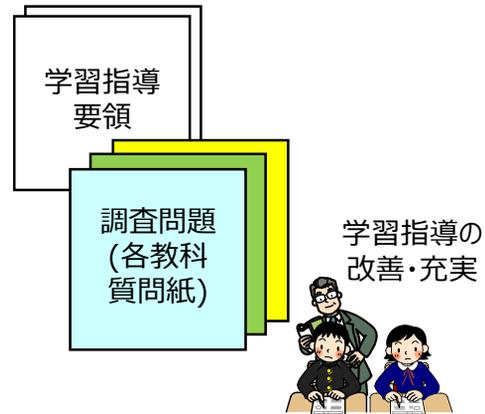
4月19日（火）に、令和4年度の「とちぎっ子学習状況調査」と「全国学力・学習状況調査」を実施しました。本通信では、各学校が両調査を要としながら、子どもたちの「確かな学力」の向上に向けた取組を進めていく際の情報を提供します。

今回は、調査実施後に各学校で取り組んでいただきたいことについて説明します。

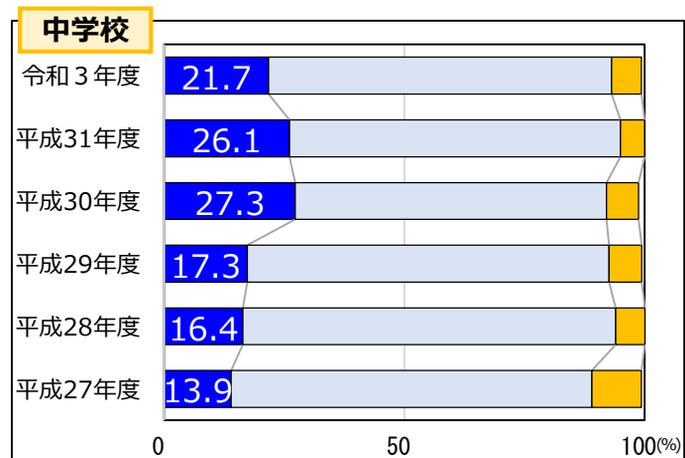
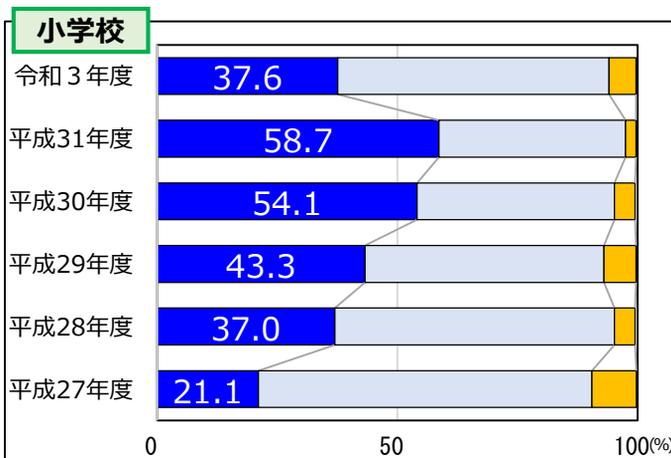
調査問題を実際に解いてみる

文部科学省は、「各調査問題に、学習指導の改善・充実に向けたメッセージがある」と言っています。学力調査の対象は学年・教科ともに限られていますが、調査問題を活用して学校全体で教育指導の充実や学習状況の改善等に努めていくことが大切です。

とちぎっ子学習状況調査の学校質問紙には、「調査実施後、児童生徒に身に付けさせたい力の確認等のために、教員自ら調査問題を解いている」という項目があり、過去6年間の回答状況は以下のグラフのようになっています。



【学校質問紙】調査実施後、児童生徒に身に付けさせたい力の確認等のために、教員自ら調査問題を解いている



■ ほとんどの教員が調査問題を解いている □ 調査対象学年または調査対象教科の教員のみ解いている ■ 調査問題を解いた教員は少ない



「ほとんどの教員が調査問題を解いてる」と回答している学校も増えています。

教員が自ら調査問題を解くことで、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力がどのようなものなのかを確認することができます。また、調査問題は、出題の趣旨を踏まえた上で、授業における学習活動を想定し、問い方を十分吟味して作問されているため、他学年や他教科の授業改善にも参考になります。まずは、調査問題を手に取っていただき、1問を解くことから始めていただきたいと思います。例えば、学習指導主任が自校の課題に関連する問題を取り上げ、教員全体で解くことにより、学校全体で取り組む方向性について共通理解を図ることができます。

前年度の課題とのつながりを確認する

調査結果が出る前の、この時期に、前年度の課題とのつながりを確認しておくことも大切です。例えば、以下のように、「学力向上改善レポート」の「検証結果」（次年度に向けた課題）を活用することが考えられます。

学力向上改善レポート ○○小学校

令和3（2021）年度学校課題

1 子どもの学ぶ意欲・学習習慣

課題	具体策	検証方法	検証結果

2 教師の指導力

課題	具体策	検証方法	検証結果

3 保護者の理解・協力

課題	具体策	検証方法	検証結果

＜「検証結果」に記載した、次年度に向けた課題＞
「根拠を基に自分の考えを表現する力」を育むための指導を工夫することで、授業改善の充実を図っていく。

「根拠を基に自分の考えを表現する力」を育むための指導の工夫について、今年度も引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



学習指導主任・学力向上担当等



まずは、今年度の「質問紙調査」には、どのような質問内容があるかを確認して、関連する項目を整理してみます。

学年主任・教科主任等

学力向上改善レポートで確認した課題を踏まえ、「教科に関する調査」の関連する調査問題に着目したり、「質問紙調査」の質問事項を確認したりすることで、調査結果が出た際に、その後の取組につなげることができます。

保護者用リーフレットの活用

●保護者用リーフレット

家庭でできる学カアッププロジェクト

令和4（2022）年4月
栃木県教育委員会
県教育委員会では、小学校4・5年生、中学校2年生を対象に、「とちぎっ子学習状況調査」（教科に関する調査と質問紙調査）を実施しています。ここでは、これまでの調査結果の分析から分かってきたことを基に、保護者の皆様にも参考にさせていただきたい働きかけの例を紹介します。

子供のよさをほめ、自信をもたせていますか？

これまでの調査結果から、家の人は、ほめてもらいたいことをほめてくれると思っている子供ほど、自分にはよいところがあると感じている傾向にあることが分かってきました。

ほめる際は、結果だけを見るのではなく、努力の過程を認めるなど、**自信をもたせる**ようにしましょう。その際は、**子供がどのようなことをほめてもらいたいのか**を考えることも大切です。

自信や意欲をもたせるための言葉

(例)

- そう、そのやり方だよ
- うまく進んでいるね
- ずいぶんよく分かってきているね
- あなたならやれると分かっていたよ

県教育委員会生涯学習課発行「習字プログラムアレンジ版」を基に作成

全国学力・学習状況調査のこれまでの結果分析からも、保護者の適切な働きかけは、子供に自信や意欲をもたせるなどの効果があることが分かっています。

とちぎっ子学習状況調査の実施用品に同封し、保護者用リーフレットを送付しました。

今年度の保護者用リーフレットは、児童生徒質問紙調査や教科に関する調査の結果を基に、保護者が「ほめる」などの働きかけをする際の例を紹介しています。

具体的な活用場面

- ・ 保護者会で説明
- ・ 学校だよりや学年だよりなどで紹介
- ・ 家庭訪問や個人面談の際の話題 など

本リーフレットは、調査対象児童生徒数分を送付しています。調査対象外の学年の児童生徒には、下記のホームページからダウンロードの上、印刷して配布したり、学校のホームページにリンクを貼り付けたりするなどして、適切に御活用ください。

令和4（2022）年度
家庭でできる学カアッププロジェクト



URL: <https://sites.google.com/view/hogosya-leaflet>

今年度も各学校の学力向上に向けた取組を推進する上で有効な情報を定期的に発信していきます。学校全体の取組の充実に向けて御活用ください。